

栄光の足跡 ～地域ともに歩んだ60年～



生徒数の推移

年 度	人数(人)
昭和28	321
昭和38	※448
昭和48	299
昭和58	119
平成5	125
平成15	70
平成24	22

※60年中最多の生徒数

昭和22.5.1																		
及位村立及位中学校の及位校舎、釜淵校舎として発足																		
及位村立及位中学校、釜淵中学校として独立一村一校案により、及位村立及位中学校として統合し、現在地に新築移転																		
及位中PTAが発足																		
寄宿舎設置																		
校歌を制定																		
校章を制定																		
寄宿舎を一寮増設																		
校舎を全面改築し、新築落成																		
体育館落成																		
第1回学区縦断駅伝大会を開催																		
平成2.12.18																		
冬季寄宿舎を一寮とし、新築落成																		
特設スキー部を設置(全国大会リレー第2位)																		
学区縦断駅伝大会 10周年記念大会																		
グラウンドを全面改修、完成																		
教育後援会語る会発足																		
文部科学省の「学力向上フロンティア事業」の指定校(H14～16年度)																		
創立50周年記念式典																		
新規図書購入 図書室整備																		
東日本大震災復興支援コンサート開催(吹奏楽部)																		
寄宿舎「こしき寮」閉寮式																		
閉校記念式典(60年の歴史に幕)																		
25.3.23																		
25.3.8																		
23.5.8																		
21.8																		
14.11.9																		
14.4.1																		
12																		
10.9.27																		
8.10.10																		
7.10																		
62.10																		
62.3.5																		
62.2.2																		
46																		
42.8.10																		
39																		
38.11.30																		
30.4.1																		
28.4.1																		
23.4.1																		
22.5.1																		





校 章
作成者:佐藤四郎太

及位中学校校歌

作詞 堀 正巳
作曲 齋藤鉦吉

一、こしきの峰は空高く
かぶの山々そそり立つ
朝日かがやき 雲ははれて
のぞみ明るく若人に
向上の道しめすなり

二、不動の滝の玉しぶき
塩根の川の水清く
波間にうつる 花のかけ
色美しく純情の
心やさしく咲きかおる

三、希望が丘の学び舎に
理想語らう声あふれ
知性ゆたかに たくましく
青春われら力あり
ああわが及位中学校

ありがとう 及位中学校

「受け継がれし伝統に感謝、いざ感動のゴールへ」



平成25年3月23日(土)、真室川町立及位中学校の閉校式が行われました。同窓生や歴代の校長、旧職員、在校生、教職員、地域の方など多くの方々が集まり、及位中学校との別れを惜しんでいました。

真室川町立及位中学校は、昭和22年5月1日に及位村立及位中学校の及位校舎、釜淵校舎として発足しました。以来、地域のシンボルとしてあり続け、地域に支えられてきました。

閉校式が開式され、会場となった及位中学校体育館では、式に列席した皆さんにより厳かに国歌や町民歌が斉唱されました。井上薫町長は、及位中学校の歴史に触れ、輝かしい学校教育、スポーツ活動、学校教育の育成支援に向けた地域の連携を称えた後、「真室川町の教育スローガンである『心豊かで いのち輝く 真室川つ子』の育成のため、より一層の教育環境の充実を図っていきます。在校性の皆さんには、真室川中学校で新たな一歩を踏み出し、多くの仲間と友情を深めるとともに、切磋琢磨しながら自らを一層高め、次代の真室川町をさらに日本を切り拓く立派な人材として大きく羽ばたいてくれることを期待します。」と式辞を述べました。

続いて、三上準一校長が、平成24年度で及位中学校が閉校すると決定された日から、母校がなくなる不安を抱えながらも、及位中学校の幕引き役として活躍した最後の及中生、22名の成長の足跡と地域の方々の努力を

紹介し、「及位地区発展のために、希望が丘の学び舎で理想を語り合い、知性を豊かに育み、誠実の誓いの中に、どこで生活し、何を生業としていようと及位中学校での学びを腹のど真ん中に据えて、ふるさとを思い、ここで生きる人々に心を寄せていただきた。い。」とあいさつをしました。

最後に、生徒たちが壇上の前に立ち、会場に集まった皆さんも一緒に集まった皆で歌う最後の校歌をかみしめながら斉唱していました。

この後開催された「及中思い出を語る会」では、庄司忠美及位中学校閉校記念事業実行委員長が、会場に集まった皆さんに「及位中学校のよき伝統と校風をこれからの真室川中学校の体制にいかしていただけるよう、今後も力添えをいただきたい。」とあいさつしました。

平成24年度、春、及位中学校は60年という長い歴史に幕を下ろしました。3,967名の生徒が巣立った及位中学校。惜別の思いを胸に、地域の皆さんの新たな歴史がここから始まります。



及位中学校への想いを寄せて

学校はなくなっても、及中魂は消えませんが、及中生であつたことを誇りに前に進んでいきたいです。この校舎で語った夢を叶えることが、及中に唯一してあげられることです。きつと、この場でその姿を見守ってくれるはずですよ。

2年生 齋藤音々さん

僕達は、最後だからこそ最高の形で締めくくろうと考え、今年一年活動してきました。及中魂を僕達は忘れません。今日の寂しさを乗り越えて、僕達は前を向いて歩いていきます。

3年生 荒川大夢さん